

2021 年度報告 横浜市青少年育成センター

1 施設の管理運営

2021 年度もコロナ禍における施設運営となりました。感染状況によって利用状況が大きく変化しましたが、利用時間や定員、活動の制限など感染拡大の防止対策を行いながら、休館することなく年間を通して開所することができました。また、コロナ禍においても青少年の育成団体や関係機関等の会議や打ち合わせ、研修会などが継続的に実施できるよう、オンライン機材やサポート対応の充実を図り、団体活動の支援を行いました。できる限り利用者のニーズに沿った対応を心がけたことで、利用者アンケートには、「いつも親切に適切な対応をしてくださいます。」「貸出機材をお願いしても臨機 応変に優しく対応してくださる」などの評価もいただくことができました。

コロナ禍でキャンセルが発生した日程を活用して、老朽化した地下 2 階廊下の床の張替えや地下 1 階受付に防犯カメラを新設するなど、利用者の利便性や安全性の向上に努めました。

【開館日数・利用状況】

年度	開館日数	利用団体	利用人数	印刷室利用	相談件数	稼働率
2017	325 日	3,408 件	44,258 人	410 件	40 件	62.1%
2018	325 日	2,834 件	37,918 人	396 件	71 件	55.4%
2019	311 日	4,105 件	50,857 人	548 件	93 件	66.1%
2020	281 日	2,010 件	19,625 人	292 件	71 件	39.8%
2021	339 日	3,072 件	30,561 人	472 件	75 件	45.9%

※2017 年 12 月～2018 年 9 月まで関内ホール工事のため、仮施設で運営しました。

※2020 年 3 月～5 月は新型コロナウイルスの影響で臨時休館となっています。

2 施設の主な事業

(1) 青少年を支える人材の育成（講座・研修、ネットワーク形成の実施）

コロナ禍でも青少年への関心や育成者関係が学ぶ機会を確保するために、コロナ感染状況が変化しても開催できるよう、オンライン形式やハイブリット形式など様々な形式で事業展開を行いました。

青少年理解の基礎講座では、社会的関心が高まっている「依存症」「ヤングケアラー」「ひとり親家庭」という新しいテーマの理解研修を実施したほか、青少年活動の実践者向けに青少年課題の相談先や連携方法を学び知るための専門研修を実施しました。

青少年活動の関係者のネットワーク形成を目的に「子ども・若者に関わる関係者の大交流会」「ユースゼミ」を開催しました。大交流会には活動実践者から大学生までが参加し、業種や年代を超えた学び合いの機会、関係づくりの機会となりました。また、昨年度から継続している大学生によるオンラインを活用した地域活動の取材と発信を行う社会参加プログラムのほか、大学生サークルによる交流スペースのウォールアートを実施するなど、青少年と共に青少年施設づくりにも取り組みました。

(2) 青少年育成活動等に関する情報の収集・提供（相談・情報提供など）

相談窓口（電話、メール）は開設しました。コロナ禍でも活動している地域団体や活動内容の情報提供やオンラインを活用した交流会開催方法など、コロナ禍でも活動していくための工夫や企画の相談が多くありました。また、外部関係者との意見交換会を基に、施設の空きスペースを活用して「寄付物品の中継拠点」として、横浜市内の子ども食堂や居場所づくりに取り組む団体の支援を行いました。この取り組みを通して新たな地域の活動団体等とも繋がったことで、地域活動の状況や人材情報を得ることができました。

会議室・スタジオ利用状況

月	開館 日数	減免 件数	コマ数 (a)	利用団体数(b)				稼働率(b/a)					利用人数				
				計	青少年	指導者	一般	ユース	全体	青少年	指導者	一般	ユース	計	青少年	指導者	一般
累計	339	374	6,698	3,072	165	1,266	1,386	255	45.9%	2.5%	18.9%	20.7%	3.8%	30,561	5,057	15,250	10,254
4	29	35	567	251	6	90	120	35	44.3%	1.1%	15.9%	21.2%	6.2%	2,018	147	1,157	714
5	29	21	537	233	12	88	122	11	43.4%	2.2%	16.4%	22.7%	2.0%	2,115	310	1,071	734
6	29	27	573	259	11	101	130	17	45.2%	1.9%	17.6%	22.7%	3.0%	2,339	353	1,055	931
7	29	47	555	295	32	124	109	30	53.2%	5.8%	22.3%	19.6%	5.4%	2,948	381	1,542	1,025
8	28	15	556	182	12	71	84	15	32.7%	2.2%	12.8%	15.1%	2.7%	1,651	466	1,128	57
9	28	46	556	167	6	78	56	27	30.0%	1.1%	14.0%	10.1%	4.9%	1,424	249	545	630
10	30	30	610	270	11	140	96	23	44.3%	1.8%	23.0%	15.7%	3.8%	2,888	194	1,939	755
11	29	26	578	316	9	109	177	21	54.7%	1.6%	18.9%	30.6%	3.6%	2,980	185	1,232	1,563
12	27	29	554	312	15	135	139	23	56.3%	2.7%	24.4%	25.1%	4.2%	3,461	866	1,414	1,181
1	27	23	534	261	7	121	116	17	48.9%	1.3%	22.7%	21.7%	3.2%	2,123	273	893	957
2	25	30	490	239	13	103	99	24	48.8%	2.7%	21.0%	20.2%	4.9%	1,952	394	899	659
3	29	45	588	287	31	106	138	12	48.8%	5.3%	18.0%	23.5%	2.0%	4,662	1,239	2,375	1,048

内訳

	月	コマ数 (a)	利用団体数(b)				稼働率(b/a)					利用人数				
			計	青少年	指導者	一般	ユース	全体	青少年	指導者	一般	ユース	計	青少年	指導者	一般
研修室1累計		1,222	743	11	465	176	91	60.8%	0.9%	38.1%	14.4%	7.4%	17,047	2,870	9,460	4,717
	4	106	52	0	33	12	7	49.1%	0.0%	31.1%	11.3%	6.6%	1,145	57	808	280
	5	100	57	1	41	15	0	57.0%	1.0%	41.0%	15.0%	0.0%	1,316	165	802	349
	6	108	65	0	42	15	8	60.2%	0.0%	38.9%	13.9%	7.4%	1,321	214	703	404
	7	104	75	6	47	11	11	72.1%	5.8%	45.2%	10.6%	10.6%	1,766	229	1,063	474
	8	100	45	4	28	9	4	45.0%	4.0%	28.0%	9.0%	4.0%	744	199	538	7
	9	100	46	0	22	8	16	46.0%	0.0%	22.0%	8.0%	16.0%	782	116	281	385
	10	110	72	0	47	16	9	65.5%	0.0%	42.7%	14.5%	8.2%	1,356	81	937	338
	11	104	74	0	40	27	7	71.2%	0.0%	38.5%	26.0%	6.7%	1,515	22	784	709
	12	100	72	0	45	19	8	72.0%	0.0%	45.0%	19.0%	8.0%	1,867	394	885	588
	1	96	68	0	44	18	6	70.8%	0.0%	45.8%	18.8%	6.3%	1,110	179	468	463
	2	88	49	0	30	10	9	55.7%	0.0%	34.1%	11.4%	10.2%	929	215	445	269
	3	106	68	0	46	16	6	64.2%	0.0%	43.4%	15.1%	5.7%	3,196	999	1,746	451
研修室2累計		1,222	636	6	367	220	52	52.0%	0.5%	30.0%	18.0%	4.3%	5,589	688	2,914	1,987
	4	106	50	0	30	14	6	47.2%	0.0%	28.3%	13.2%	5.7%	355	4	233	118
	5	100	30	1	22	16	0	30.0%	1.0%	22.0%	16.0%	0.0%	270	19	136	115
	6	108	54	1	30	18	5	50.0%	0.9%	27.8%	16.7%	4.6%	460	47	224	189
	7	104	66	0	39	23	4	63.5%	0.0%	37.5%	22.1%	3.8%	537	33	266	238
	8	100	36	0	22	11	3	36.0%	0.0%	22.0%	11.0%	3.0%	440	119	297	24
	9	100	47	0	30	10	7	47.0%	0.0%	30.0%	10.0%	7.0%	309	36	172	101
	10	110	55	0	36	14	5	50.0%	0.0%	32.7%	12.7%	4.5%	459	39	319	101
	11	104	72	1	21	43	7	69.2%	1.0%	20.2%	41.3%	6.7%	615	48	171	396
	12	100	69	2	42	23	2	69.0%	2.0%	42.0%	23.0%	2.0%	715	202	309	204
	1	96	55	1	34	17	3	57.3%	1.0%	35.4%	17.7%	3.1%	410	20	234	156
	2	88	45	0	27	12	6	51.1%	0.0%	30.7%	13.6%	6.8%	350	71	130	149
	3	106	57	0	34	19	4	53.8%	0.0%	32.1%	17.9%	3.8%	669	50	423	196
ミーティングルーム累計		1,222	509	23	226	206	54	41.7%	1.9%	18.5%	16.9%	4.4%	3,343	426	1,742	1,175
	4	106	38	0	15	14	9	35.8%	0.0%	14.2%	13.2%	8.5%	150	30	55	65
	5	100	29	0	14	14	1	29.0%	0.0%	14.0%	14.0%	1.0%	171	31	72	68
	6	108	42	1	20	19	2	38.9%	0.9%	18.5%	17.6%	1.9%	214	27	95	92
	7	104	54	7	27	15	5	51.9%	6.7%	26.0%	14.4%	4.8%	304	44	161	99
	8	100	35	3	14	12	6	35.0%	3.0%	14.0%	12.0%	6.0%	188	23	139	26
	9	100	27	0	16	7	4	27.0%	0.0%	16.0%	7.0%	4.0%	155	50	58	47
	10	110	48	2	24	17	5	43.6%	1.8%	21.8%	15.5%	4.5%	638	10	532	96
	11	104	47	1	21	24	1	45.2%	1.0%	20.2%	23.1%	1.0%	283	12	132	139
	12	100	55	2	19	26	8	55.0%	2.0%	19.0%	26.0%	8.0%	394	167	75	152
	1	96	44	2	20	16	6	45.8%	2.1%	20.8%	16.7%	6.3%	245	10	111	124
	2	88	51	2	23	21	5	58.0%	2.3%	26.1%	23.9%	5.7%	285	8	161	116
	3	106	39	3	13	21	2	36.8%	2.8%	12.3%	19.8%	1.9%	316	14	151	151
和室累計		1,222	333	6	177	106	44	27.3%	0.5%	14.5%	8.7%	3.6%	2,161	594	927	640
	4	106	29	0	12	11	6	27.4%	0.0%	11.3%	10.4%	5.7%	152	36	61	55
	5	100	30	0	10	10	10	30.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	187	67	61	59
	6	108	25	0	9	14	2	23.1%	0.0%	8.3%	13.0%	1.9%	138	27	33	78
	7	104	25	0	11	9	5	24.0%	0.0%	10.6%	8.7%	4.8%	135	6	52	77
	8	100	14	0	1	11	2	14.0%	0.0%	1.0%	11.0%	2.0%	130	80	50	0
	9	100	16	0	10	6	0	16.0%	0.0%	10.0%	6.0%	0.0%	84	20	34	30
	10	110	33	2	20	7	4	30.0%	1.8%	18.2%	6.4%	3.6%	258	52	121	85
	11	104	41	0	22	13	6	39.4%	0.0%	21.2%	12.5%	5.8%	291	66	120	105
	12	100	44	2	29	8	5	44.0%	2.0%	29.0%	8.0%	5.0%	247	66	120	61
	1	96	24	0	18	6	0	25.0%	0.0%	18.8%	6.3%	0.0%	149	45	70	34
	2	88	30	0	22	4	4	34.1%	0.0%	25.0%	4.5%	4.5%	231	61	150	20
	3	106	22	2	13	7	0	20.8%	1.9%	12.3%	6.6%	0.0%	159	68	55	36
スタジオ累計		1,810	842	119	31	678	14	46.5%	6.6%	1.7%	37.5%	0.8%	2,421	479	207	1,735
	4	143	82	6	0	69	7	57.3%	4.2%	0.0%	48.3%	4.9%	216	20	0	196
	5	137	78	10	1	67	0	56.9%	7.3%	0.7%	48.9%	0.0%	171	28	0	143
	6	141	73	9	0	64	0	51.8%	6.4%	0.0%	45.4%	0.0%	206	38	0	168
	7	139	75	19	0	51	5	54.0%	13.7%	0.0%	36.7%	3.6%	206	69	0	137
	8	156	52	5	6	41	0	33.3%	3.2%	3.8%	26.3%	0.0%	149	45	104	0
	9	156	31	6	0	25	0	19.9%	3.8%	0.0%	16.0%	0.0%	94	27	0	67
	10	170	62	7	13	42	0	36.5%	4.1%	7.6%	24.7%	0.0%	177	12	30	135
	11	162	82	7	5	70	0	50.6%	4.3%	3.1%	43.2%	0.0%	276	37	25	214
	12	154	72	9	0	63	0	46.8%	5.8%	0.0%	40.9%	0.0%	238	37	25	176
	1	150	70	4	5	59	2	46.7%	2.7%	3.3%	39.3%	1.3%	209	19	10	180
	2	138	64	11	1	52	0	46.4%	8.0							

《目標設定時公表項目》 2021 年度 横浜市青少年育成センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、施設の貸出や青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率 60% (前年度年間目標：72%) ②相談・情報提供業務 年間 100 件 (前年度年間目標：100 件)
業務運営	①青少年に向き合う地域人材を育成します。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①青少年育成に関する講座・研修等への参加者数 延べ 600 人以上。(前年度年間目標：600 人以上) ②青少年育成に取り組む他団体と連携して、青少年育成者や、団体のネットワークを推進します。 連携事業：年 4 事業以上
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①職員の外部研修への参加 年 6 回以上。 育成センタースタッフの内部研修の実施 年 1 回 ②避難誘導訓練 年 2 回、 AED 講習会 年 1 回
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 190 万円 (前年度年間目標：210 万円) ②事業収入 93.5 万円 (前年度年間目標：120 万円)

《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組 (改善計画)
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率：60% ②相談・情報提供業務年間：100 件	①45.9% ②75 件	①14.1% ②25 件	①広報・利用促進の強化に取り組めます。 ②SNS 等を活用した相談窓口の周知を図ります。
業務運営	①青少年に向き合う地域人材を育成します。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①講座・研修等の参加者数延べ 600 人以上。 ②他団体との連携事業：4 事業以上	①748 人 ②7 団体	①+148 人 ②+2 団体	①オンラインの活用・開催日時の工夫などにより、さらに多くの人に研修・講座が届けられるよう努めます。 ②引き続き他団体との連携の強化に取り組めます。
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①外部研修への参加年 6 回以上 ②避難誘導訓練 2 回 AED 講習会年 1 回	①16 回 ②避難 2 回 AED 1 回	①+10 ②なし	①引き続き職員の養成に取り組めます。 ②引き続き利用者の安全確保に努めます。
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 190 万円 ②事業収入 93.5 万円	①1,259 千円 ②56,6 千円	①640 千円 ②368 千円	①キャッシュレス決済導入など利便性の向上に取り組めます。 ②オンライン機材有料貸出など事業収入増加を図ります。

A 青少年活動を支援する事業 あ 施設貸与

事業名	実施日	件数	利用人数	備考
1 利用者案内、利用相談、受付 ●会議室、スタジオ等の貸出 ・貸し出し、利用相談 ・育成団体登録時の相談実施	4～3月	3,072件	30,561人	・件数内訳) 青少年 165件 育成団体 1266件 一般 1386件 法人利用 255件 ・登録件数内訳) 253件 青少年 27件 育成団体 80件 一般 146件
●HPによる情報提供	随時	・抽選予約状況(3か月前、毎月) ・スタジオ空室状況(2か月分・週1回更新および随時)		
2 施設での活動支援、安全・衛生環境管理 ●非常用物品の確認・点検 ・各室非常灯の点検、救急箱の点検 ・部屋貸し出し時の避難経路案内	毎月随時	—	—	・地震および火災時の対応 非常灯表示 ・HPによる案内(帰宅困難者一時滞在施設) ・備蓄品の購入と保管(水、軽食)
●避難訓練の実施	①6/16 ②2/12	年2回	—	・避難誘導訓練の実施
●スタッフ救急研修	9/15	年1回	—	・応急手当講習会
●修繕等の実施 ①B2床シート張替え ②B2床シート張替え ③電話回線デジタル化 ④B1防犯カメラ設置	①11/5,9 ③2/25,28 ④2/9 ⑤2/21	年4回	—	①スタジオ前・第2研修室前廊下 ②トイレ前～ミーティング前廊下 ③施設代表電話回線 ④受付前(録画機能付き)
3 利用者サービス向上のための取り組み ●活動支援室(プリントルーム)事業	4～3月	472件	—	印刷機/コピー/ラミネート製本作業等の活動支援事業
●館外貸出物品事業(着ぐるみ)	—	—	—	コロナ感染防止の為、貸出停止中
●利用サービスの向上 交流スペース、ワークルールの運営 利用者用ロッカーの貸出	通年	—	—	・個別学習コーナーの設置 ・子ども食堂寄付物品の中継支援(消毒液、マスク他)
●利用者アンケートの実施	2～3月	94件	—	・利用状況や利用者サービス、職員対応などを調査
4 その他 新型コロナウイルスの影響による対応 ①まん延防止等重点措置 ②緊急事態宣言 ③まん延防止等重点措置	①4/20-8/1 ②8/2-9/30 ③1/21-3/6	—	—	・開館時間等変更に伴う利用者への連絡対応、事業参加者への連絡

A 青少年活動を支援する事業 え 相談・助言

事業名	実施日	件数	備考
青少年育成に関する相談・情報の収集と提供 ●相談・コーディネート	4～3月	75件	・窓口、電話、Eメールでの相談対応 ・研修講座終了後の相談対応 ・青少年活動企画のアドバイス、講師紹介 ・企業の社会貢献事業のコーディネート

<p>●情報の提供 ユースライブラリーの運営 HPやSNS等による情報提供 館内空きスペースを活用したパネル展</p>	随時	—	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年に関する書籍の収集・配架・貸出 ・青少年指導者向けの研修・講座情報の提供 ・青少年統計データ、ボランティア情報提供 ・青少年に関する書籍の貸出とデータベース化 ・青少年通信の発行 4,000部 250カ所配布 ・Facebook, twitter, note等のSNSでの情報発信 ・パネル展の実施：「18歳意識調査：コロナ禍と社会参加」、「青少年からのシグナル」
<p>●相談・助言の対応の向上 (スタッフスキルアップ研修等)</p>	①毎月 ②随時	—	<p>①月例会議でのケースカンファレンス(毎月)</p> <p>②外部研修への職員の参加(16件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年リーダー研修会 ・メンタルヘルス研修 ・オンライン実践交流サロン「ユースワーカーはどう若者の権利を保障するのか?」ほか

A 青少年活動を支援する事業 お 調査、資料収集

<p>●調査・資料収集</p> <p>①地域の青少年活動のリサーチ</p> <p>②研修テーマのニーズ調査</p> <p>③外部人材との意見交換会</p>	①通年 ②随時 ③ 3/1, 3/29	①34件 ②- ③2回	<p>①青少年に関する新しい取り組みの取材・発信</p> <p>②事業参加者へのアンケート実施(65件)</p> <p>③施設の活用方法やPR、運営課題についての意見交換会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県の子どもの居場所づくり支援 ・若手ユースワーカーの人材育成
---	------------------------------	-------------------	---

B 青少年を支える人材を育成する事業 い 講座・セミナー・育成

日常の関わりの中で包括的に青少年を支え、青少年や地域が抱える課題に対して、青少年自身または地域の活動者・実践者に寄り添い、共に考え伴走していけるような人材の広がりを目指し、事業を企画・実施しています。

講座・研修は、青少年理解の基礎的な内容から、活動者・実践者が学びを積み上げていく連続講座、活動現場の実践で活かせるスキルアップ講座、青少年に関わる方々が出会い学び合う交流会やフォーラムなど、参加者それぞれの立場やレベルに合わせた研修体系となっています。

事業名	実施日	参加人数	備考
<p><青少年理解の基礎講座></p> <p>(前期)</p> <p>① 依存症 ～心を救うためにできること 講師：神奈川県立精神医療センター依存症診療科 西村 康平 氏</p> <p>② ひとり親家庭の支援を通じて 講師：ひとり親サポートよこはま 津守 恵里子 氏</p> <p>③ 青少年と多文化共生 講師：多文化まちづくり工房 早川 秀樹 氏</p> <p>④ 障害児支援のイマとコレカラ 講師：若葉台特別支援学校 渡部 千佳子 氏</p> <p>・定員50人(対面30人、オンライン20人) ・参加費：各回600円 ※全回参加者には「修了証」を発行 ※全回対面・オンライン並行開催</p>	<p>①6/24</p> <p>②7/9</p> <p>③7/19</p> <p>④7/27</p>	<p>①31人</p> <p>②38人</p> <p>③26人</p> <p>④29人</p> <p>計124人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年を取り巻く現状や課題について学び、青少年に寄り添う人材を増やすことを目的に青少年理解の基礎講座を前期・後期に分けて実施した。 ・新型コロナウイルス感染症予防対策としてハイブリッド開催とした。 ・前期のテーマは「依存症」「ひとり親家庭の支援」「多文化共生」「障害児支援」。

事業名	実施日	参加人数	備考
<p><青少年理解の基礎講座> (後期)</p> <p>① ヤングケアラー支援の実際 講師：横浜ヤングケアラーヘルプネット 西迫 愛 氏</p> <p>② 子どもの虐待被害と回復（前編） 講師：NPO法人つながぐ 飛田 桂 氏</p> <p>③ 子どもの虐待被害と回復（後編） 講師：NPO法人つながぐ 飛田 桂 氏</p> <p>④ SSWから見るイマドキの青少年 講師：横浜市教育委員会 SSW 岩尾 尚 氏</p> <p>・定員 50 人(対面 30 人、オンライン 20 人) ・参加費：各回 600 円 ※全回参加者には「修了証」を発行 ※全回対面・オンライン並行開催</p>	<p>①10/6</p> <p>②10/16</p> <p>③10/22</p> <p>④10/26</p>	<p>①14 人</p> <p>②32 人</p> <p>③24 人</p> <p>④26 人</p> <p>計 96 人</p>	<p>・青少年を取り巻く現状や課題について学び、青少年に寄り添う人材を増やすことを目的に青少年理解の基礎講座を前期・後期に分けて実施した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症予防対策としてオンライン開催とした。</p> <p>・後期のテーマは「ヤングケアラー支援」「子どもの虐待被害と回復」「スクールソーシャルワーカーから見る青少年」。</p> <p>・前期～後期を通して、仕事や活動で青少年と関わる現場をもつ参加者が多く、課題への実際の対応事例への関心が高かった。</p>
<p><専門研修（連続講座）></p> <p>青少年に関わるための専門研修 「青少年課題の相談先・連携方法を学ぶ、知る」(全4回)</p> <p>① 横浜市中央児童相談所</p> <p>② よこはま若者サポートステーション</p> <p>③ 公益財団法人横浜市国際交流協会 なか国際交流ラウンジ</p> <p>④ 特定非営利活動法人 SHIP</p> <p>・定員 30 人 参加費：2,500 円 ※全回対面・オンライン並行開催</p>	<p>①2/25</p> <p>②2/28</p> <p>③3/8</p> <p>④3/9</p>	<p>①18 人</p> <p>②16 人</p> <p>③13 人</p> <p>④11 人</p> <p>計 58 人</p>	<p>・青少年に関わる活動や業務に関わる実務経験者のレベルアップを目的に、青少年に関わるための専門研修を全4回の連続講座として実施した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症予防対策としたすべてハイブリッド開催とした。</p> <p>・具体的な連携事例を学ぶことを通して、青少年課題と課題に対応する支援機関への理解を深める機会となった。</p>
<p><次世代人材の育成研修></p> <p>青少年ボランティア体験 ①育成センターボランティア ・定員 32 人</p> <p><内容></p> <p>・取材 11 回（子ども食堂他）</p> <p>・note にて取材報告（28 回）</p> <p>・第1・第3日曜日にハイブリッド交流会</p> <p>・適宜オンライン MTG や活動相談</p> <p>・育成センターのウォールアート制作 (桜美林大学はやおサークル)</p>	<p>通年</p>	<p>50 人</p>	<p>・青少年に関わる次世代人材の育成を目的に、主に大学生世代の青少年が、個人/サークルとして地域活動の取材や情報発信、社会に関わる活動に参加する機会を提供した。</p> <p>・取材をきっかけに大学生ボランティアが地域の活動団体とつながり、活動に参加するきっかけが生まれるなど、人材のすそ野を広げる取組となった。</p>

事業名	実施日	参加人数	備考
<p><青少年活動や団体運営に役立つ講座></p> <p>①情報発信講座 講師：NPO 森ノオト 北原 まどか 氏 ・定員 40 人(対面 20 人、オンライン 20 人) ・参加費：1,500 円 ・内容：SNS やチラシでの情報発信のコツ</p> <p>②救命救急講習会 講師：横浜市防火防災協会職員 ・定員 10 人(対面のみ) ・参加費：1,500 円 ・内容：全年齢対応の上級救命講習</p> <p>③自然遊び講座 講師：一般社団法人遊心 峯岸 由美子 氏 ・定員 20 人(対面のみ) ・参加費：1,800 円 ・内容：外遊びのポイント</p> <p>④初心者から分かる写真講座 講師：フォトグラファードバイザー 坂元 豊 氏 ・定員 20 人(対面のみ) ・参加費：1,200 円 ・内容：広報で使える写真撮影のポイント</p> <p>⑤スマホで作る動画作成講座 講師：NPO 法人ちいき未来 森 康祐 氏 ・定員 20 人(対面のみ) ・参加費：2,000 円 ・内容：1 回目：動画撮影の基礎 2 回目：動画をつくる・見る</p> <p>※全 6 回中対面 5 回、ハイブリッド 1 回</p>	<p>①6/28</p> <p>②9/15</p> <p>③11/14</p> <p>④1/31</p> <p>⑤1 回目 3/20</p> <p>2 回目 3/21</p>	<p>①11 人</p> <p>②8 人</p> <p>③5 人</p> <p>④5 人</p> <p>⑤1 回目 9 人</p> <p>2 回目 9 人</p> <p>計 47 人</p>	<p>・青少年育成に関わる人や団体の活動の充実を図ることを目的に、青少年活動や青少年育成団体の運営に役立つ知識・スキルを学ぶ講座を実施した。</p> <p>・団体広報としての情報発信から個人で身に着ける救命救急・自然遊び・写真／動画など、実践者のはばひろいニーズに対応する内容となった。</p> <p>・オンライン（ハイブリッド）開催には適さない実地研修が多く、対面のみで開催となったことで、新型コロナウイルス感染症拡大によって参加者が伸び悩んだ回もあった。</p>
<p>行政機関や青少年支援団体等と連携した 人材育成</p>	<p>通年</p>	<p>7 団体</p>	<p>・青少年育成団体等との協働し、幅広いテーマの人材育成を共催等で実施した。</p> <p>①NPO 法人よこはまチャイルドライン 「子ども支援者養成講座2021」</p> <p>②横浜市母子寡婦福祉会「養育費セミナー」</p> <p>③日本作法会 横浜関内教室 「心を育てる講座 こども作法」</p> <p>④NPO 法人子ども支援センターつなぐ 「市民公開講座」他</p> <p>⑤おもしろ科学たんけん工房 「理科推進スタッフ体験講座」</p> <p>⑥横浜市教育委員会 人権教育・児童生徒課 「横浜プログラム指導者養成研修」</p> <p>⑦横浜にプレイパークを創ろうネットワーク 「プレイリーダー研修」</p>

事業名	実施日	参加人数	備考
<p><青少年育成関係者の交流勉強会></p> <p>よこはまユースゼミ 「20代の若手スタッフが現場をふりかえられる場」</p> <p>話題提供者： ・ほどがや市民活動センターアワーズ 北川 有紀 氏 ・あおばコミュニティテラス 大久保 智弘 氏</p> <p>①参加者・ファシリテータ同士の交流 ②キャリア（生き方・働き方）を聞く-1 ③キャリア（生き方・働き方）を聞く-2 ④今年度を振り返る ⑤来年度を考える</p> <p>・定員 15 人 ・参加費：2,000 円 ※全 5 回中対面 3 回、ハイブリッド 2 回</p>	<p>①9/7 ②9/21 ③9/28 ④2/8 ⑤2/15</p>	<p>①8 人 ②9 人 ③8 人 ④6 人 ⑤8 人</p>	<p>・青少年に関わる仕事をしている若手人材の育成とネットワーク形成を目的に、主に 20 代の若手スタッフが少し上の世代の実践者との交流やキャリアについての講義を通して学び、自分自身の実践を振り返る機会を提供した。</p> <p>・対象を限定して、少人数で開催したことで、講師も含めた参加者同士の関係性が深まり、次年度も継続して集まることになった。</p>
<p><青少年団体等のネットワーク形成事業> 第 7 回「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」</p> <p>※「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」を開く会との共催 ※感染拡大防止のため、ハイブリッド開催</p>	<p>7/4</p>	<p>21 団体 40 人</p>	<p>・青少年に関わる活動団体や関心のある人が集まり、活動発表と交流することを目的に共催事業として実施した。育成センターは事務局として世話人会開催サポート、広報、当日運営サポートを行った。</p> <p>・前年度は新型コロナウイルス感染拡大のためオンラインでの開催、今年度はハイブリッド開催となった。</p> <p>・今年度はボランティアとして活動する大学生の参加も多く、地域の活動者と大学生が意見交換をする姿も見られ、世代を超えた交流の機会、ネットワーク形成の機会となった。</p>

2021年度 横浜市青少年育成センター施設管理業務報告【4月～3月】

○建築物の保守管理

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
内部仕上げ	壁面・天井・床・等	目視点検	1日1回以上		育成C

○空調・電気・消防設備等保守点検

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
空調設備	外観の状態	目視点検	1日1回以上		関内H
	自動運転盤の異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	電流値の適正	目視点検	1日1回以上		関内H
	モーターの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	回転音異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ファンベルトの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ドレンパンの異常の有無	目視点検	月1回	4/12,5/10,6/14, 7/12,8/17,9/6, 10/12,11/8, 12/13,1/11,2/8, 3/14	関内H
	フィルターの汚れ	点検・清掃	月1回	4/12,5/10,6/14, 7/12,8/17,9/6, 10/12,11/8, 12/13,1/11,2/8, 3/14	関内H
電気設備	受電設備	年次点検	年1回(9月)	9/13,	関内H
	配電設備	年次点検	年1回(9月)	9/13,	関内H
	蓄電池設備	機器・総合点検	年2回(9月、3月)	9/6,3/14	関内H
消防設備		機器・総合点検	年2回(9月、3月)	8/17,9/6,2/8,3/14	関内H
中央監視装置		本体・制御点検	年2回(8月、1月)	8/11,1/11・12	関内H
エレベーター設備		月例点検	月1回	4/12,5/10,6/14, 7/12,8/17,9/6, 10/12,11/8, 12/13,1/11,2/8, 3/14	関内H
防火シャッター設備	防火シャッター設備	定期点検	年1回	3/14,	関内H
自動ドア設備		定期点検	年4回(6,9,12,3月)	6/14,9/6,12/13, 3/14	関内H

○環境衛生業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
環境衛生管理	空気環境測定		年6回(奇数月)	5/18,7/16,9/8, 11/10,1/14, 3/16	関内H
	水質検査		年2回(8月、2月)	7/16,2/2	関内H
	害虫駆除	薬剤散布等	年2回(8月、2月)	8/16,2/7	関内H
	受水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)	6/14,	関内H
	残留塩素測定	試薬による点検	1日1回		関内H
	高置水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)	6/14,	関内H
	雑排水槽清掃	物理的清掃	年2回(8月、2月)	8/17,2/8	関内H
	排水管清掃				関内H

○備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績	分担
事務備品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C

○清掃業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
日常清掃		日常清掃	1日1回以上		関内H
定期清掃	床清掃(洗浄・ワックス塗布)	ワックス塗布	年3回以上	6/14,9/13,1/11	関内H
	照明器具清掃	照明器具、排気口清掃	年2回	2/8,3/14	関内H
	ガラス清掃	ガラス清掃	年6回(奇数月)	5/10,7/12,9/6, 11/8,1/11,3/14	関内H

○保守管理業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
常駐警備		巡回警備	1日4回以上		関内H
機械警備		セコム	毎日(夜間)	警戒警備	関内H

2021 年度

利用者アンケート集計結果

いつも横浜市青少年センターをご利用いただき、ありがとうございます。また、アンケート期間中は回答にご協力いただき誠にありがとうございました。

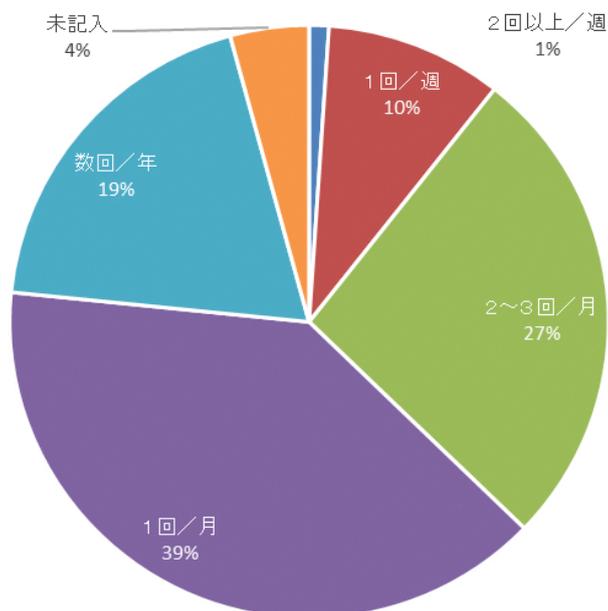
お陰をもちまして、94 件の回答をいただくことができました、育成センターの機能についてお寄せいただいたご意見を次のようにまとめました。

(アンケート期間：2022年2月1日～3月31日)

利用頻度について

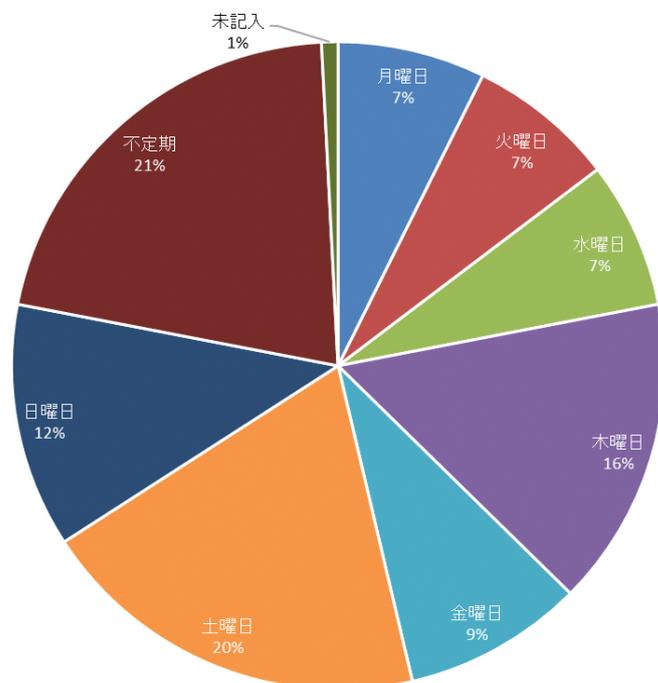
(1) 育成センターの利用頻度は？

2回以上/週	1
1回/週	9
2～3回/月	25
1回/月	37
数回/年	18
未記入	4
計	94



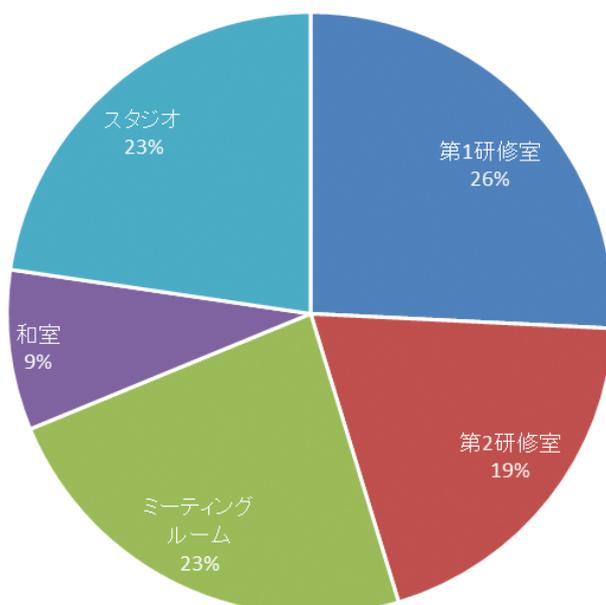
(2) 利用の曜日はいつですか？ (複数回答可)

月曜日	9	土曜日	24
火曜日	9	日曜日	15
水曜日	9	不定期	26
木曜日	19	未記入	1
金曜日	11	計	123



(3) 主に利用する部屋はどこですか？ (複数回答可)

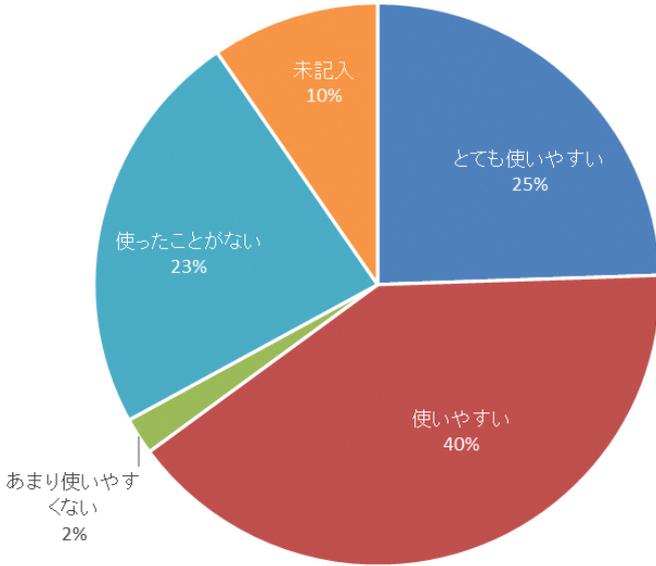
第1研修室	33
第2研修室	25
ミーティングルーム	30
和室	11
スタジオ	29
計	128



設置機材や貸出機材について

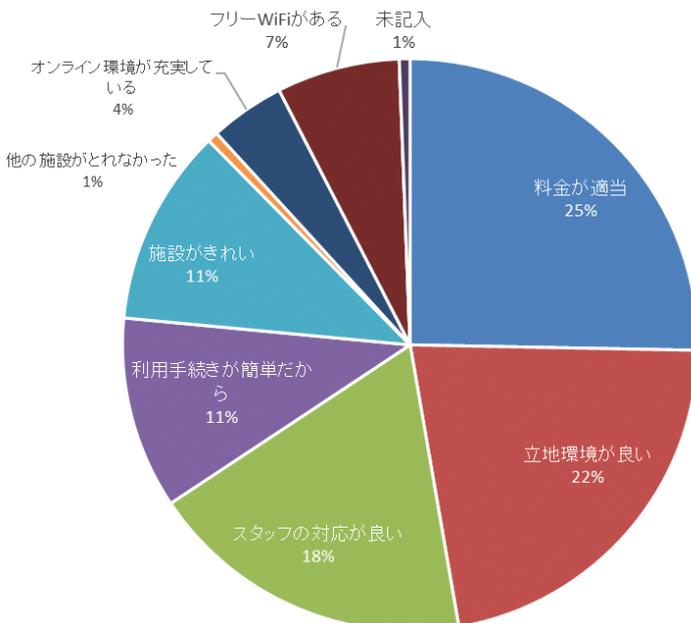
(1) 設置機材や貸出機材の満足度は？

とても使いやすい	23
使いやすい	38
あまり使いやすくない	2
使いにくい	0
使ったことがない	22
未記入	9
	94



センターを利用する理由

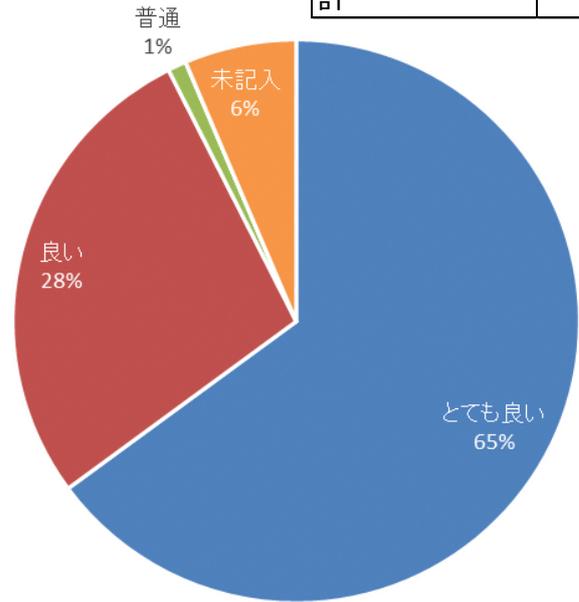
料金が適当	84	他の施設がとれなかった	2
立地環境が良い	73	オンライン環境が充実している	14
スタッフの対応が良い	61	フリーWiFiがある	23
利用手続きが簡単だから	36	その他	0
施設がきれい	37	未記入	2
		計	332



職員の対応に関すること

受付窓口の職員対応（あいさつ、話し方、要望への対応）について

とても良い	61
良い	26
普通	1
あまり良くない	0
良くない	0
未記入	6
計	94



<とても良い>

- ・いつも笑顔で対応していただき、素晴らしいなと思いました
- ・いつも明るくはきはきと丁寧な対応をして下さる
- ・いつも柔軟な対応をして下さってとても感謝しています。本当にありがとうございます
- ・いつも対応が丁寧で気持ち良く使わせていただいています
- ・いつもフレンドリーな感じで迎えて頂きありがとうございます。皆さんとても丁寧で優しいです
- ・親切に的確に対応して下さいますので助かります
- ・利用する側のニーズと必要な資料案内他、利用する側の意図を理解しコーディネートしてくれる 他

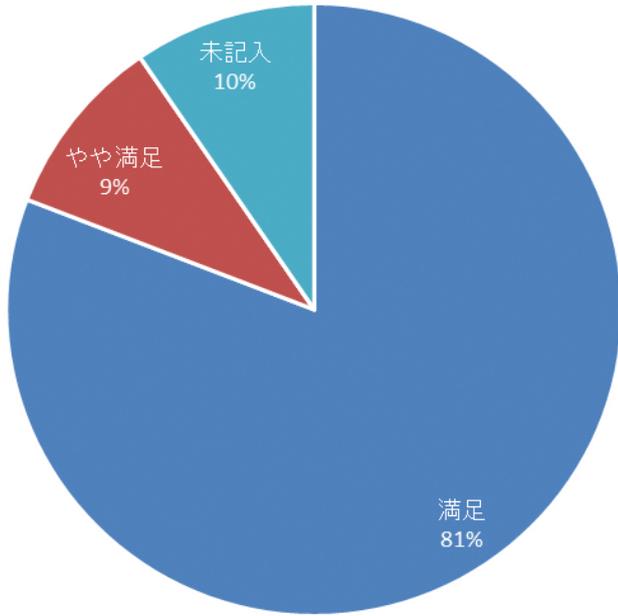
<良い>

- ・いつも丁寧に接して下さり嬉しく思います
- ・質問に対し、分かり易く説明してもらえた。設置機材の使い方等丁寧に教えていただいた
- ・声の調整（zoom等）も手伝って下さった
- ・TELでのコミュニケーション時も良い 他

総合評価

5点満点での評価

満足	76		
やや満足	9		
やや不満足	0		
不満足	0	未記入	9
		計	94



意見や要望

- ・コロナ禍で予定が変動しやすい状況を理解して下さり柔軟に対応して下さるので大変助かっています。要望としては定期的に機材を持ち込んで利用する場合に預かっていただけるサービスがあると大変助かります
- ・とても使いやすいので今後も様々なことで利用したいと思います。立地もよく人も集まりやすい。価格もとても助かります
- ・今後共宜しくお願いします。将棋ブームで子供達の参加が多いです
- ・④の時間開始の時間が遅い様に思う。6時頃開場が好ましい
- ・退室の時間を見計らうことが、存外大変でした。タイマー、アラームの貸し出しなどあったら便利かもしれません
- ・コロナ対策でマイクが複数使えるようにしてほしい。ギタースタンドがほしい
- ・洋式トイレが少ないので増やしてほしい

以上

体系	項目	自己評価
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与 諸室および物品の貸出	<p>2021年度もコロナ禍の影響により、利用件数および稼働率をコロナ禍以前までに回復させることはできませんでした。しかし、オンライン機材の充実や職員によるオンライン活動のサポートを行うことで、コロナ禍においてもオンラインやハイブリッドで会議や打ち合わせ、勉強会等を実施する団体も増え、2020年度よりも利用件数および稼働率も向上が図れてきています。ポストコロナにおける新たな活動スタイルやニーズにも対応できるよう、施設整備を行っていきたくと考えています。また、今年度は施設の空きスペースを活用して、子ども食堂や居場所づくり活動への寄付物品や食材の中継拠点として活動の支援を行いました。活動を通して新たな活動団体とも繋がり、情報収集や提供、新たな人材との出会いが生まれました。公共施設の新しい活用方法や地域貢献の活動を検討する機会となりました。</p>
	え 相談・助言 相談・コーディネート	<p>相談対応に関しては、単なる情報提供で終わらせず、相手の話をよく聞きニーズを受け止め一緒に考える対応（寄り添い対応）を心掛けています。昨年度と違いコロナ禍でも可能な限り活動しようとする団体も増え、コロナ禍での工夫やイベントの企画などの情報提供や企画相談が多くありました。そのため、職員も積極的に地域に出向き、活動状況やコロナ対応などの情報収集を行う必要性を感じています。</p> <p>また、企業等からの青少年向けの社会貢献活動の企画相談も増えてきているので、相談・コーディネート幅を広げられるよう関係機関との連携強化とともに職員の対応力の向上にも努めていきます。</p>
	え 相談・助言 情報提供（ユースライブラリーの運営ほか）	<p>ユースライブラリーの蔵書は500冊を超え充実してきましたが、利用者の増加には繋がっていません。効果的な広報活動のほかにライブラリーでのイベントを行うなど活性化を図っていきたくと思います。</p> <p>情報発信に関しては、大学生ボランティアが、地域の新しい活動や埋もれている青少年活動を掘り起こし、SNS等を活用して多世代に届くよう工夫しています。また、これまで蓄積された多様な情報を整理し、誰もが活用しやすいように情報提供できるよう、ホームページのリニューアルを含めた改善や整備に取り組んでいきます。</p> <p>パネルを活用して情報提供は、地下2階の廊下を活用して「成人年齢引き下げ」「デートDV」など定期的に青少年に関する情報提供を行いました。利用者へ定期的な啓発活動を行うことができました。</p>
	お 調査・ 調査・資料収集	<p>地域の青少年活動のリサーチにおいては、放課後等デイサービスをはじめ7か所の地域活動の現場取材しました。取材内容は「note」などのSNSで発信しました。取材先からは、情報発信は大変なので活動を広く発信してもらえるのは嬉しいし、取材により自らの活動を振り返る機会になったとの意見をいただきました。活動リサーチは、活動団体を支援するとともに、学生世代が取材することで若者世代にも関心を広げることにつながっていると感じます。</p> <p>研修テーマのニーズ調査に関しては、研修参加者に受講票を記載した際に、研修テーマのニーズ調査を行いました。今後は研修参加者以外にも事前調査を行い人材育成研修のテーマ設定や統計データとして活用していきたくと思います。</p> <p>外部人材との意見交換会では、空きスペースの活用方法を神奈川子ども食堂・地域食堂ネットワークのメンバーと意見交換を行ったほか、市内プレイパークの若手プレイリーダーと人材研修や人材交流について意見交換を行いました。特に若手リーダーとの意見交換会では、他業種の同世代人材と学び合う機会や交流する機会、研修会や勉強会の定期開催を強く要望していました。これら意見は、今後の研修会等の在り方を検討する材料として活用していきたくと思います。</p>

体系	項目	自己評価
B 青少年を支える人材を育成する事業	青少年に関わる人材育成のための研修・講座	<p>コロナ禍においても、参加者が安心して参加できるようオンライン形式、ハイブリッド形式など参加形式を選択できるよう工夫して実施しました。理解研修では「ヤングケアラー」「多文化共生」「ひとり親家庭」といった社会問題となっている新しいテーマにも取り組みました。講師を依頼した支援団体とも新たな繋がりも生まれ、青少年支援や相談対応などの連携体制を築くこともできました。</p> <p>専門研修においては、「相談」をテーマに青少年いくせいに取り組む人が相談を受けた際に、相談機関に繋ぐ前にやっておくこと、どのような状態なら繋ぐ必要があるのか、繋いだ後の対応、など実践者の様々な疑問や対応方法を学ぶ機会としました。連続して同じメンバーで学ぶことで参加者同士の横のつながりが生まれるとともに、実践経験を基により深い知識や技術を学ぶ機会となったと感じています。</p> <p>昨年度から引き続き取り組んでいる次世代人材の育成は、コロナ禍を意識してオンラインを活用した活動取材を行っていましたが、学生の要望で地域に出向きリアルに取材を行いました。取材だけでなく、実際に活動にも参加させてもらい実体験することで、単に話を聞くだけでなく実践者の気持ちや想いをより深く理解できたようです。取材後も継続して活動に参加する学生も生まれるなど、活動を通して若者の社会参加の推進に繋がっていると感じています。</p>
	青少年活動や団体運営に役立つ講座	<p>団体運営のヒントや活動に役立つ考え方や手法を学ぶ研修として、「広報の発信力UP」、「コロナ禍の救急法」、「コロナ禍での自然あそび」、「映える写真編集」、「スマホで動画作成」といった様々な講座・研修を企画しました。特に「スマホ動画作成」に関しては、反響も多く関心の高さを感じました。コロナ禍によってデジタル化が急速に進む中で、地域活動に取り組む人たちも社会の流れに何とかついていこうという意識や意気込みを感じました。しかし、実践形式の研修形式が多かったため、コロナ感染状況によりキャンセルも多くありました。そのため、ハイブリッド形式での開催や予備日の設定など、状況が変化しても開催できる方法や内容を検討していきたいと思います。</p>
	行政機関や青少年支援団体等と連携した人材育成	<p>今年度は「よこはまチャイルドライン」「横浜市母子寡婦福祉会」「神奈川こども支援センター」を含め7団体と連携して人材育成に取り組みました。研修の広報やオンライン開催をサポートするほか、講師選定の相談等にも応じるなど円滑な実施の支援を行いました。連携して開催することで、「LGBTQ」や「性」といった育成センターで扱っていないテーマの研修も開催が可能となっています。連携や協働を進めることで、お互いの人材育成の効果を高めるとともに、新しい視点や人材を得る機会に繋がっていると感じます。</p>
	団体や人材の交流促進	<p>今年度のユースゼミは、若手スタッフが学び合う機会として、連続5回で開催しました。他分野の20代の若手職員が集まり、30代の先輩職員を講師としてキャリアについて話し合いました。これまでのゼミでは知識や技能を学ぶ機会が多かったのですが、「働き方」や「生き方」といった自らのキャリアや価値観を共有する機会は、参加者にとって大きな刺激になったようです。ライフスタイルが多様化している現代において、同世代で交流し意見交換できる場の重要性を知るきっかけにもなりました。</p> <p>横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会は、コロナ禍での開催でしたが、昨年よりも多い21団体40人の参加がありました。ハイブリッド開催で実施しましたが、オンライン参加は1人であり、コロナ禍だからこそリアルな繋がりを希望する人が多いのだと感じました。今年度は大学生の参加者も多く、多世代での交流を促進できたかと思えます。多世代、他業種が繋がる“きっかけ”の場として重要な機会を提供できていると感じています。</p>

2021年度 横浜市青少年育成センター 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	46,304,000		46,304,000	46,304,000	0	横浜市より
利用料金収入	1,900,000		1,900,000	1,259,400	640,600	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	767,000		767,000	471,517	295,483	事業参加費、プリントルーム使用料ほか
自主事業収入	0		0		0	
雑入	168,000	0	168,000	94,657	73,343	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	60,000		60,000	48,157	11,843	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他（ロッカー貸出）	108,000		108,000	46,500	61,500	
収入合計	49,307,000	0	49,139,000	48,129,574	1,009,426	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,040,000	0	25,040,000	23,374,580	1,665,420	(施設連携事業費：本部職員経費2,200,000-、役員報酬800,000-含む)
給与・賃金	20,668,000		20,668,000	19,638,311	1,029,689	(施設連携事業費：本部職員経費2,000,000-含む)
社会保険料	3,000,000		3,000,000	2,662,677	337,323	(施設連携事業費：本部職員経費200,000-含む)
通勤手当	500,000		500,000	495,200	4,800	(施設連携事業費 -含む)
健康診断費	40,000		40,000	25,377	14,623	(施設連携事業費 -含む)
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000	24,000	11,000	(施設連携事業費 -含む)
退職給付引当金繰入額	797,000		797,000	529,015	267,985	(施設連携事業費 -含む)
事務費	580,000	0	580,000	738,248	158,248	
旅費	30,000		30,000	39,250	9,250	職員出張旅費
消耗品費	100,000		100,000	179,713	79,713	事務物品(コピー用紙、文具、プリンタートナー他)、PCソフトなど
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費	110,000		110,000	80	109,920	
通信費	60,000		60,000	8,230	51,770	事務用切手ほか
使用料及び賃借料	50,000	0	50,000	78,573	28,573	
横浜市への支払分	50,000		50,000	59,448	9,448	
その他			0	19,125	19,125	荷物運搬車両リース他
備品購入費	100,000		100,000	244,200	144,200	パソコン、会議室机他
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000		30,000	
職員等研修費	50,000		50,000	0	50,000	
振込手数料	50,000		50,000	35,215	14,785	
リース料	0		0	0	0	貸出事業にかかる経費として事業費に計上
手数料			0	152,987	152,987	バイト募集掲載手数料、オンライン決済手数料、両替手数料
地域協力費	0		0	0	0	
事業費	6,809,000	0	6,809,000	8,237,450	1,428,450	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	6,809,000		6,809,000	8,237,450	1,428,450	相談事業、教室(講座)事業、貸室事業にかかる経費 (事業スタッフ賃金、印刷機リース、諸謝金、広報通信費ほか)
自主事業費	0		0	0	0	
管理費	14,460,000	0	14,460,000	14,840,480	380,480	
光熱水費	0	0	0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
電気料金	0		0		0	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費			0		0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
修繕費	1,110,000		1,110,000	578,490	531,510	床の張替え、電子ピアノ修理
機械警備費			0		0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
設備保全費	13,350,000	0	13,350,000	14,261,990	911,990	施設負担金(関内ホール)ほか
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	13,350,000		13,350,000	14,261,990	911,990	施設負担金、廃棄物処理委託、工事委託、管理消耗品費
共益費	0		0		0	
公租公課	2,100,000	0	2,100,000	1,000,000	1,100,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,095,000		2,095,000	1,000,000	1,095,000	消費税
印紙税	5,000		5,000		5,000	
その他()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	150,000	0	150,000	454,105	304,105	
本部分	0		0	372,900	372,900	法人本部維持管理費
当該施設分	150,000		150,000	81,205	68,795	会計・給与システム、動産保険、税理士・社労士顧問料
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	事業費内で調整
支出合計	49,139,000	0	49,139,000	48,644,863	494,137	
差引	168,000	0	0	515,289	515,289	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支	0			0		

管理許可・目的外使用許可収入	30,000			94,657		
管理許可・目的外使用許可支出	30,000			59,448		
管理許可・目的外使用許可収支	0			35,209		